

資料－４

第35回 維持管理・環境管理専門委員会
第1回 H31年度イベント実行委員会
2019年3月4日

マーケットリサーチについて

(1) H31年度のマーケットリサーチ

- 過年度に接点を得たT小学校やT専門学校との具体的な協議を進めていきます。
- 新たなリサーチ対象の開拓を進めていきます。
 - エコプロ2019を訪問し、ご協力いただけそうな企業・学校・団体等を探ります。
 - 各委員の方は、年間計画に関わらず、適宜、独自にリサーチ対象にアプローチをお願いします。

H31年度スケジュール											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	●T小学校による活動①				●T小学校による活動②			5日(木)～7日(土) : エコプロ2019	●T小学校による活動③		
←----- T専門学校への提案・協議 ----->											
←----- 各委員が独自にリサーチ対象にアプローチ ----->											

<エコプロ2019の開催概要>

- | | |
|--------|------------------------|
| 【開催日】 | 2019年12月5日(木)～7日(土) |
| 【会場】 | 東京ビックサイト 西・南ホール |
| 【出展規模】 | 550社・団体 / 1,350小間(見込み) |
| 【来場者数】 | 170,000人(見込み) |

出典：<http://eco-pro.com/2018/outline/001304.html>

(2) T専門学校への訪問

●エコプロ2018で名刺交換したT専門学校に3月1日(金)10時頃に訪問しました。

通算	実施概要	結果
1回目	平成31年1月30日 出席者 (T専門学校) ・社会活動推進室長 ・社会活動推進室統括 (協議会) ・堂本委員長 ・事務局	【T専門学校】 <ul style="list-style-type: none"> 今の学生は「ゆとり世代」と呼ばれ、学校の授業で自然にも触れているので、太郎右衛門自然再生地に興味を持つ学生はいると思う。ただ、学生は授業とアルバイトでとても忙しい。 産学協同のパートナーは民間企業のほか、社団法人、商店会、警察署など様々。依頼の内容は、映像資料制作、案内ポスター、パンフレットなど媒体を指定してデザインを行う場合や、何かお題を与え学生たちが一から考えデザインを行う場合、等がある。 産学協同の方法は、大きく以下の2つがある。 <ol style="list-style-type: none"> ①社会活動推進室にエントリーしている学生に呼びかけ ⇒有志による活動のため、作品が出揃わない可能性あり。 ②企業活動に取り組む「プラスワン講座」で作品制作 ⇒講師による講座で、15名程度の学生が課題として作品を制作。 同講座は5、9、12月に1回ずつ開催され、各月に90分×4回ずつ実施。実社会の課題に取り組んだ経験は、学生たちが就職活動をする際のアピールポイントになる。 現時点で、直近5月の②「プラスワン講座」はテーマが決まっていない。5月に行うならば、テーマ、条件、制約事項などを早々に決めていく必要がある。
2回目	平成31年3月1日 出席者 (T専門学校) ・社会活動推進室長 (協議会) ・堂本委員長 ・事務局	【T専門学校】 <ul style="list-style-type: none"> 提案資料にある「デザインので社会の問題解決に取り組む」は、まさに当校が取り組んでいきたいことであるが、この提案内容であると、時間が足りないと思われる。 また、9月期のプラスワン講座は1年生が中心となることから、意見交換しながら話を進めていく方法は、議論がうまく前に進まない可能性がある。 以上のことから、もう少し絞り込んだ課題とすることが望ましい。詳細については、同講座担当の講師を紹介するので、直接相談をしてみしてほしい。 現場見学会を行う場合は有志を対象に実施することになる。9月期の同講座の申し込みは7月頃になるので、希望者を対象に、夏休みに現場見学を行うことは可能である。 費用については、デザイン料は頂いていないが、学生のデザインが採用される時には、表彰や賞金などを検討いただきたい。具体的内容は依頼者にお任せしている。

(2) T専門学校への訪問

2回目訪問時の資料

T専門学校と荒川太郎右衛門地区自然再生協議会の協働活動

1. 目的

デザインの力で社会の問題解決に取り組む。

- ・パンフレット作成、散策マップ作成、案内看板、イベント開催など実施してきているが手詰まり感がある。
- ・“荒川太郎右衛門地区自然再生事業”のお悩み解決に、斬新なアイデア・発想など若い力を貸してほしい。

2. 産学協同プロジェクトの狙い

学 生：現実の社会の問題に、己の力で向き合う機会を得る【challenge】

協議会：若者たちの意見や発想に触れて、変化する機会を得る【change】

3. テーマ&プログラム (案)

- ・9月期のプラスワン講座として組むことを想定。時間は、90分/1限×4回。
- ・たたき台として「課題制作案」と「ソーシャルデザイン案」の2案を例示します。

テーマ&プログラム(たたき台)

テーマ	第1回	第2回	第3回	第4回
案1:課題制作 デザインの力で地域の問題を解決する！	<ul style="list-style-type: none"> ■インプット (現地状況、問題点の説明) ■テーマ設定及びコンセプトワークについて 	<ul style="list-style-type: none"> ■テーマ発表 ■ラフ案作成 (課題制作/指導) 	<ul style="list-style-type: none"> ■制作 (課題制作/指導) 	<ul style="list-style-type: none"> ■成果発表会
案2:ソーシャルデザイン 地域の問題を解決するWin-Winな社会の仕組みをデザインしてみる！	<ul style="list-style-type: none"> ■インプット (現地状況、問題点の説明) ■全体討議 (問題の明確化、取り組み方針) 	<ul style="list-style-type: none"> ■全体討議 (全体構成、グループ分割) ■グループワーク (役割分担) 	<ul style="list-style-type: none"> ■グループ制作 ■進捗報告 	<ul style="list-style-type: none"> ■全体構成 ■成果発表

4. 課題

- ・現場見学をする機会を設けることはできるか？ 例：土曜日、夏休みなど。
- ・各回の講義計画の立案、協議会事務局から提供すべき情報…など。

グラフィックデザイン科の時間割例

	1 9:00~10:30	2 10:40~12:10	3 13:10~14:40	4 14:50~16:20	課外 16:40~18:10
月		デジタルフォト基礎	デザインベシク2		※プラス1講座
火	ドローイング		MACオペレーション-A		※プラス1講座
水			Macオペレーション-B		
木	印刷メディア論	Web基礎	レイアウト		※プラス1講座
金	タイポグラフィ基礎	キャリアデザイン2			※プラス1講座

※プラス1講座は学期ごとに最大3講座まで受講可能な、選択式のアドバンスプログラムです。

(T専門学校HPより転載)

(3) T小学校の訪問

● T小学校の訪問結果です。

通算	実施概要	結果
1回目	平成30年10月2日 出席者 (T小学校) ・校長先生 ・教頭先生 (協議会) ・堂本委員長 ・事務局	【T小学校】 ・来年度、荒川太郎右衛門地区自然再生協議会と連携していきたい。 ・現地が近いことから、児童たちが興味を持つ可能性がある。 ・現地への移動は、スクールバスを使用することが可能である。 ・現地に行き、(遊びも含めて)自然に触れながら、生態系の学習を実施したい。
2回目	平成30年12月6日 出席者 (T小学校) ・校長先生 ・教頭先生 (協議会) ・堂本委員長 ・事務局	

- 太郎右衛門地区における維持管理を行うためには、協議会の委員および関係団体のみでは十分な体制とならないため、**協議会の外部協力者の参画**を求めています。
- 参加して頂けそうな近隣地域の団体・企業をあらかじめ想定し、これらの方々が**参加しやすい条件を整える**ため、対象者の「ニーズ」についての「**マーケットリサーチ**」を行います。

